

令和5年4月吉日

山形大学附属学校園保護者 各位

山形大学附属学校運営部長 三浦 登志一
山形大学附属幼稚園長 伊藤 顕吾

園児募集声かけ運動へのご協力をお願い

日頃より、本園の教育活動につきまして、ご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、近年、少子化の問題に加え、保育制度の改革や幼児教育の無償化が行われるなど、社会情勢が大きく変化しています。そのような影響によって、本園への入園希望者が減少傾向にあります。

そこで、本園では、より多くの方に園の魅力を知っていただくとともに、入園を希望される方が増えるよう、標記の取り組みを実施してまいりたいと考えております。

つきましては、附属学校園の保護者の皆様にも標記の件について趣旨をご理解いただきますとともに、未就園児がいらっしゃるお知り合いの方に下記のことをお伝えくださいますようお願い申し上げます。

記

お伝えいただきたい附属幼稚園の教育の魅力

1 豊かな環境を活かした遊びこむ活動

園で過ごす時間のほとんどが「自ら選んだ活動（遊び）」です。園庭に広がる自然豊かな環境すべてが、子どもにとっての遊び場です。夢中になって遊びこむ経験によって、主体性や創造性、人とかかわる力や思いやりが育まれます。

2 大学と連携した食育

幼児期は、感覚機能が最も発達する時期です。園では大学と連携し、郷土にある「食材」をもとに「感じる経験」を大事にしています。食育を通して、心身の豊かな成長や小学校以降のSDG'sの理解へとつなげます。

3 幼小中一貫した英語教育と学生による英語遊び

大学と連携した英語教育に一層力を入れていきます。英語を用いた歌やダンス、遊びなどの体験を通して、楽しみながらコミュニケーション能力の基礎を育み、小学校・中学校の英語教育へとつなげます。

4 小学校と一体となった教育【小学校への連絡入学】

幼児と児童の交流、教員間での日常的な情報交換を通じて連携するなど、学びの連続性や子どもの発達から幼小の接続を行っています。また、小学校進学にあたっては連絡入学制度をとっており、幼小一貫教育を受けることができます。（R5より小学校の定員数が84名になりました。）

5 幼児期からのICT体験(iPadで遊ぶ)

遊びにもICTを積極的に活用していきます。「この虫のことをもっと調べたい!」「水族館をつくって遊びたい!水族館のことを知りたいな」…。ICTを活用して探究的に学ぶ力の基礎を育みます。

令和5年度から、給食を開始(週3回)しました。
預かり保育も実施に向けて検討中です。

幼稚園 HP に情報をアップして
おりますのでご覧ください。



自然いっぱい！ 発見いっぱい！ たくさんの“やりたい”を叶える附属幼稚園

「豊かな環境」と「大学との連携」をもとに、小学校・中学校につながる探究の芽を育みます



環境を活かした遊びこむ活動



大学と連携した食育



大学生との英語遊び



小学校との連携活動

